

令和4年度 京都乙訓普及センター 普及指導計画概要一覧表

(令和4年5月1日)

普及計画課題		普及指導対象	普及指導事項	内 容
重点計画	課題名:担い手の定着と経営向上への支援 【人・組織】	新規就農者(概ね就農5年までの農業者:研修中・経営開始型受給者を含む)4名 農業基礎講座の参加者10名程度	新規就農者の営農継続に向けた支援	新規就農者が自立的な経営を行い、生業として営農を継続できるよう支援する。
		経営力アップを目指す農業者(概ね就農5年以上:経営開始型終了者を含む)4名	経営力アップを目指す農業者への個別支援	経営力アップを目指す農業者が経営安定に向けた課題に取り組み、地域の担い手として経営を改善できるよう支援する。
	課題名:新たな特産品目の生産振興とスマート農業技術の活用による安定生産 【もの・販路】	京おくら出荷部会(伏見区洛南、淀、羽束師、西京区大原野、長岡京市、大山崎町)17戸	京おくら出荷部会の生産技術の向上	生産技術の向上等による販売額の増加や新規生産者の加入促進による部会活動の活発化を支援する。
		西京区大原野イチゴ生産者2戸	環境測定装置を活用したイチゴ栽培の向上	環境測定データを活用したイチゴの生産安定を支援する。
	課題名:京式部及び特別栽培米の安定生産と米の緊急課題対策 【もの・販路】	JA京都京北支店水稲採種部会下熊田支部「京式部」種子生産予定農家6戸	採種地での新品種「京式部」の採種	「京式部」の採種地として漏生苗対策やいもち病防除を実施し、採種適正面積を確保できるよう支援する。
		特別栽培米重点農家9戸(左京区4戸、右京区5戸) 嵯峨地域農場づくり協議会14戸 計22戸(1戸重複)	使用資材や施肥方法の変更等による高温障害対策技術の検討	植物活性剤の施用、施肥方法の変更や水管理の徹底等により高温障害を軽減し、安定した収量・品質を確保できるよう支援する。
管内水稲農家14戸(左京区5戸、右京区3戸、西京区2戸、伏見区2戸、長岡京市2戸)		害虫(斑点米カメムシ類・トビイロウンカ)に対する防除技術	斑点米カメムシ類やトビイロウンカ等の害虫への有効な防除(薬剤散布、耕種的防除)を実施し、被害を軽減できるよう支援する。	
個別計画	ハウス栽培トマト・キュウリにおけるコナジラミ類防除対策	向島ハウス農家5戸	ハウス栽培トマト・キュウリにおけるコナジラミ類防除対策	各農業者が自身の栽培におけるコナジラミ発生の要因を理解し、適切な防除対策ができるよう支援する。

計画課題	対 象	内 容
ナス青枯病及びアブラナ科野菜根こぶ病に対する転炉スラグの効果確認	JA京都中央 共販ナス生産者46名 長岡京花菜部会20戸 太秦農事研究会20戸	ナスの青枯病及びアブラナ科野菜の根こぶ病の軽減対策として転炉スラグの施用による効果(土壌酸度の調整)を確認する。
オクラの低木仕立て方法による収穫作業の省力化	京おくら出荷部会22戸	収穫期後半に草丈が2m近く伸長するオクラの収穫作業の省力化を図るため、低木仕立て方法を導入し、作業性及び収量等の比較調査から普及性を検討する。
イチゴのプラグ苗利用における12月収穫の検証	西京区大原野イチゴ生産者2戸	新品種よつぼし(種子繁殖性・四季成り品種)のプラグ苗の本ほ直接定植による12月出荷に向けた好適な栽培条件を探索する。
京北のコカブ品種の検討	JA京都京北支店コカブ部会3戸	京北地域の特産であるコカブの現行品種に替わる有望品種選定に向けた品種比較調査を行う。
ブロッコリー輪作によるナスの半身萎凋病防除効果の検証	太秦農事研究会20名	ナスの半身萎凋病の土壌消毒に替わる耕種的防除方法として、ナスの前作にブロッコリーを栽培しすき込む事例があり、当地域における防除効果及び普及性を検証する。
ハウス栽培トマト・キュウリにおけるコナジラミ類発生状況調査	向島ハウス農家5戸	向島地域ではコナジラミ類の薬剤防除効果が低下している傾向があり、コナジラミ類の発生状況を調査することで適期適正防除に役立てる。
有機農業の土づくりと作付け体系等の調査	大原やさい研究会25戸	大原やさい研究会員を対象に有機農業の土づくり・作付け体系・病虫害防除方法を調査し、有機農業就農者の参考となる資料を作成する。